

# 花の島 えらぶ 香りのカレンダー ~イナミズゴ- きゅらさん公園

\*「きゅらさん」は知名町の方言で、「美しい、きれい」という意味があります

鹿児島県、奄美群島の南西部に位置する沖永良部島。

この島の山や畑には、香りの花があふれています。けれども、役場や商店街、観光客が宿泊するホテルのある町の中心地では、これらの花をあまり見ることができません。そこで、町の中心地にあるイナミズゴ- (稲水川。島の大切な水源であり、古くからの歴史を残す場。定期的に住民が清掃しています) に、1年中花の香りが漂う場をみんなで作ります。まちの人たちが臭い、島を訪れる人たちが集う。植物の香りを介して、人がつながり、まちの歴史や暮らしを伝える場となりますように。

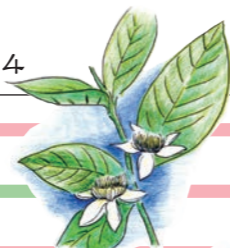
## <計画地の概要>

沖永良部島の空港の愛称は「えらぶゆりの島空港」。2町からなる沖永良部島の南西部が知名町。一年中温暖な気候で花卉栽培が盛んなこの町は「フローラル知名」と呼ばれ、町内人口6,000人のうち1,200人が計画地周辺の知名字に住み(全21集落の20%)、役場や商店街、小学校、公民館、宿泊施設が密集しています。



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

バンシロウ



フトモモノキ



クチナシ



ハマユウ



トベラ



スイレン キングオブサイアム



スモモ

スモモ



プルメリア



フィリソシンカ



キンコウボク

ウォーターミント

フィリソシンカ



イジュ



ナイトジャスミン



ポンカン



ニオイショウブ

レモングラス



フリージア



ニオイバンマツリ



オオハマボウ



ヒラミレモン

タンカン



サガリバナ



アマミアセビ



ゲットウ



花の香る時期  
実の香る時期  
葉の香る時期

沖永良部島ならではの  
香りの樹木・花カレンダー

＜計画地の現状写真＞



＜企画のねらいとアピールポイント＞

- ① 1年中香りの花がある沖永良部島ならではの庭をつくります
- ② 地域住民が協力して、島ならではの「香りのカレンダー」を育てるしくみをつくります
- ③ 島の香りや、暮らし、文化を伝える場にします

＜企画の背景＞

全国離島の例に漏れず、人口減少が急激に進む知名町。各種産業の担い手不足や商店街の衰退などにより、町全体に閉塞感が蔓延しています。町に賑わいを取り戻すにはまず人々が集う町の中心地からと考え、中心地の集落である知名町の青年団（20～30代の若手住民）が主体となり、役場や商工会、農協、バス企業、ホテルら各種団体と協力し、活性化につながるプロジェクトを進めています。

計画地であるイナミズゴ（稲水川）公園は、町のメインの交差点にあり、町内で最も交通量・通行量が多い場所です。役場駐車場に隣接し、商店街の入り口でもあるこの場所は、島内一の大型ホテルが徒歩圏内にあるため、住民のみならず観光客やビジネス客の往来もあります。川の水は、古くは生活用水として使用され、コミュニティが生まれる場所であったものの、水道が普及した現在では日常的に立ち寄る人はめったにおらず、壊れかけたベンチが佇むだけの寂しい場所となっていました。

この場所に町のアイデンティティでもある「花」を集め、地域の方々と以前のようなコミュニティを取り戻したいと考えました。

＜事業の内容としくみ＞

- ・集落住民、役場職員、商工会青年部、JAあまみ青年部、バス企業団職員、ホテル職員、知名字子ども育成会らと公園を計画し、植樹は花卉農家や造園業者の指導をいただきながら住民参加のイベントにします。
- ・家庭でお持ちの香りの樹木や球根などの提供を呼びかけ、公園への愛着を深めます。訪れた人（観光客含め）が川の水を汲んで花木にかけられるような仕掛けを用意します。
- ・公園案内、花木に取り付ける名札、川の水（大型の手長エビやメダカ、モズクガニ、ヤゴ、カエル等）の説明看板は、知名字子ども育成会を中心に製作します。
- ・公園管理の主体は知名字で行います。

